

合理的な政策の検討に不可欠な、我が国の現状の正確な把握

総務省統計局統計調査部  
経済基本構造統計課長 岩佐 哲也

経 歴

- 平成2年 4月 総務庁採用
- 平成3年 4月 同 人事局企画調整課
- 平成5年 4月 同 統計局統計情報課
- 平成7年 4月 総理府官房総務課
- 平成9年 6月 総務庁青少年対策本部参事官補佐
- 平成11年12月 同 青少年対策本部企画調整課(総括)
- 平成13年 1月 内閣府男女共同参画局課長補佐(総括)
- 平成14年 7月 総務省行政管理局行政情報システム企画課課長補佐(総括)
- 平成17年 8月 内閣府規制改革・民間開放推進室企画官
- 平成19年 7月 総務省大臣官房企画課企画官
- 平成21年 1月 同 統計調査部経済統計課長
- 平成21年 4月 現職

プロジェクト紹介 **社会を支える情報基盤の整備**

経済基本構造統計課では、総務省で実施している企業や事業所を対象とする統計調査のうち全数調査(センサス)の企画・実施、各府省や地方公共団体が実施する統計調査の基盤となる母集団データベース(ビジネスレジスター)の整備・運用を担当しています。

このうち全事業所を対象とする統計調査については、従来各府省が所管行政毎に実施をしていた、工業、商業、サービス業等の各統計調査を一部統合し「経済センサス」という新たな調査が創設されました。既に、昨年7月には、「経済センサスー基礎調査」として、我が国の全企業・事業所を対象に、その従業者数、産業分類(業務の内容)、企業構造等についての統計調査を実施したところです。この基礎的な情報を基に、平成24年2月には、「経済センサス活動調査」として、我が国において初めて、全企業・事業所を対象に、売り上げ額等、経理項目を含む統計調査を実施する予定です。



■総務省の統計業務とは

総務省では、統計局において、

- 人口に関する基本的な統計(国勢調査)
  - 事業所・企業の活動に関する基本的な統計(経済センサス)
  - 国民の就業・不就業に関する統計(労働力調査)
  - 家計の実態を明らかにする統計(家計調査)
  - 物価に関する統計(消費者物価指数)
- など、国の重要な統計調査を企画し、実施しています。

また、政策統括官(統計基準担当)においては、統計に関する政府横断的な調整を図る観点から、公的な統計の整備に関する基本的な計画案を策定するとともに、地方統計機構の整備や個別の統計調査の審査・統計などを行っています。

■統計業務における醍醐味！  
総務省における醍醐味！

統計を作成するという仕事はいうまでもなく、我が国の現状をできるだけ正確に把握するということであり、例えば、失業率、消費者物価などに関する業務は、指標の動き1つで国の施策に大きな影響を及ぼす基本的データを作成するものであり、大変な緊張感のある仕事だと思います。また、国勢調査や経済センサスなどの全数調査については、基本的に、国一都道府県一市町村一調査員という系列の下、何万、何十万という調査員の方々に御協力をいただいて調査を実施しています。このような多くの方々と1つの事業を実施することは国の業務としても数少ないものであり、調査結果の重要性と合わせ、非常にやりがいのある仕事だと思います。

また、総務省では他にも行政の根本を担う様々な業務を経験しました。行政管理局では、なかなか成立させることが困難な状況のまま膠着状態が続いていた、個人情報保護法の成立に立ち会い、そこで法審議時の膨大な量の答弁対応などを経験したことで、今でも仕事

上大抵のことは、まだまだ大丈夫だと思えるようになりました。また、規制改革・民間開放推進室では、各府省との調整の中で各府省の政策担当の方々と日々議論を繰り返しよりよい制度構築に努めるとともに、半数を占める民間の企業からの出向者をはじめ様々なバックグラウンドの方々と仕事、プライベートともにふれあう機会に恵まれました。このように幅広いフィールドを持つ総務省は、多角的な視野を養い、それを生かして行政の課題に取り組みたいという熱意をもつ方には非常に面白い現場だと思います。

■行政官を目指す皆さんへ

我々官僚の役割は、政府においても無駄がゆるされない様々な状況の下、正確なデータやニーズの把握に基づいた合理的な政策の選択枝の提示ということに、より重きが置かれるようになってきていると思います。よって、あらゆる政策の土台となる統計の設計に携わること、これからの行政の方向性を左右する非常に重要な任務だと言えるでしょう。ですから、行政官を目指す皆さんには是非、我が国でどのような統計調査が行われているかについても関心を持ち、我が国の現状に対する正しい認識を身につけてもらいたいと思います。たとえば、ニュース等でもよく話題にのぼる、我が国の失業率や消費者物価指数などはどのようにして算出され、公表されているでしょうか。是非、総務省統計局のホームページをご覧ください。そして統計という確かな切り口から日本を支えるというミッションに共感いただけたら幸いです。

Schedule  
1日のスケジュール

**9:30**  
出勤  
昨日の帰宅後のメールをチェック。

**10:00**  
研究会  
事業所や企業に関する統計調査の基礎となる、母集団データベースの整備に関して、諸外国の状況や今後の整備の方向性について意見交換。諸外国の実地調査に関する質問事項についても議論。

**12:00**  
昼食  
課員数名と近くの定食屋で昼食。時間に余裕があるときは、気分転換も兼ねて、外に出ることが多い。

**14:00**  
課題別ミーティング  
課内のそれぞれの担当の課題について、検討状況を報告。担当毎に定期的に時間を設定し、課題のポイントを整理した資料を用意することで、効率的にミーティングを実施するよう心がけている。

**17:00**  
局長説明  
調査の今後の進め方について、局長に説明。問題がある点については、早めに上司に相談し、必要な指示を受けるようにしている。また、さらに省幹部に説明が必要な場合には、局長等の指示を踏まえ、大臣、副大臣、政務官等に説明することも。

**19:00**  
会合へ  
できる限り仕事にはメリハリをつけ、色々な人たちの夜の意見交換にも積極的に顔を出すよう心がけている。様々な分野の人々とつながりを持つことは仕事の上でも重要で、思わぬところでヒントや協力が得られることも。

